

事業番号	15 05 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	「探究的な学び」推進事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
			実施期間	H30～	E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保			
	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】	・グローバル化が急速に進展し、不確実性を特徴とする社会を生き抜くために求められる課題発見力、課題解決力、発信力、異文化理解・協働力、創造力等のいわゆる「21世紀型学力」を、新学習指導要領（2018年3月告示）の内容及び方向性を踏まえ、「探究的な学び」により様々な場面において育成していく必要がある。
	【目指す姿】	・多様な学びの場、協働学習・PBL・高校間連携・高大連携等の学びの仕組みを通じて、いわゆる「21世紀型学力」が育成され、すべての生徒が「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働的に学ぶ態度」をバランスよく身に付けることを保障する。 ・希望する進路実現に必要とされる「確かな学力」・「生きる力」を身に付けるとともに、グローバルに考え世界及び地域で活躍する意識を持つことができる生徒を育成する。
	【実施内容】	・科学教育推進事業、学力向上推進事業、キャリア教育推進事業、グローバル人材育成事業 など

指標及びその達成状況 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況	前年度繰越	0	0
								1	グローバル・社会・ビジネス等の課題に係る大会・コンクールへの参加者数	—
2	海外への留学者率(高校生)	0.92%	0.96%↑	0.33%↓	1%		未達成	合計(A)	388,577	426,129
3	基礎学力に係る測定ツールにおいて全国の上位4分の1に入る本県生徒の割合(高2)	—	—	31.2%	25%		達成	うち一般財源	324,133	322,239
4	基礎学力に係る測定ツールにおいて全国の下位4分の1に入る本県生徒の割合(高2)	—	—	26.2%	25%		未達成	決算額(B)	369,245	360,638
							職員数(人)	12	13	

成果指標設定理由	1: 「探究的な学び」に取り組む中で、学びの成果、明らかになった考えや意見をまとめて発表することが重要であり、主体的な取組の成果と拡がり測る指標として適切であると考えられるため。 2: 第3次長野県教育振興基本計画の中でも成果指標として掲げられており、児童・生徒の学力を向上させるための指標として適切であると考えられるため。 3・4: 「高校生のための学びの基礎診断」等による測定ツールによる数値は、生徒の基礎学力定着を見る指標として適切であり、学力経年比較が可能であるため。
----------	--

達成状況の分析	1: 「総合的な探究の時間」の履修が始まったのが令和元年度からであるため、多くの生徒が大会等で発表できるようになるまでには時間が不足していたものと考えられる。 2: 研修旅行381人(0.63%相当)、つばさプロジェクトによる留学52人(0.08%相当)が新型コロナウイルス感染症の影響で中止になっていなければ、目標値を達成できたものと考えられる。 3・4: 上位層は約3割、下位層は全国割合より若干多いが、全体として2年生の学力はやや高めであると考えられる。さらなる授業改善を進め、基礎学力の習得を高める必要がある。
---------	---

主な取組	✓海外での探究的な学びを推進する信州つばさプロジェクト始動 ・県企画プログラム: オーストラリア、マレーシアに高校生を研修派遣 ・個人留学: 高校生13人の留学を支援	 信州つばさプロジェクト 県企画「マレーシア」	 信州つばさプロジェクト 県企画「マレーシア」
	✓地域との協働による高校教育改革推進事業に3校が指定 ・地域魅力化型: 白馬高校 ・プロフェッショナル型: 飯田OIDE長姫高校 ・グローバル型: 長野高校		
	✓参加型、探究学習型のイベントを開催 ・信州グローバルユースセミナー(小布施サマースクール) ・信州サイエンスキャンプ等		

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのよう にしてい きたいか	・教科等の指導、課題研究、キャリア教育、グローバル教育等によるそれぞれの学びを横断的に連携させて、学びの改革を進め教育効果を高めていくことが必要。	・先進的・先端的な研究開発に取り組む地域協働推進校、SSH、WWL等を中心として、「探究的な学び」「信州に根差したグローバルな学び」を更に推進することで、新学習指導要領、高大接続改革、高校改革を踏まえた学びの改革を進める。

事業番号 15 05 01 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	「探究的な学び」推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
-----	---------------	----	----------	-----	----------

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
1	科学教育推進事業		24,447 千円	19,451 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	科学オリンピック養成講座	直接	信州大学の先生を講師に招き、高校生を対象とする物理・化学・生物・地学・情報の講義や実習を実施 【実力養成講座6回延べ71人参加、うち154人が地区予選に出場】	
2	サイエンス・アソシエーション・プロジェクト	直接	高等学校等が国内外の大学・研究機関・企業と連携して行う科学技術に関する研修経費の助成 【参加者等：国内研修13校18件。海外研修11校9件(うち4校4件が新型コロナウイルスの影響で中止)】	
		補助金	高等学校等が国内外の大学・研究機関・企業と連携して行う科学技術に関する研修経費の助成 【補助件数等：2校24人(うち1校14人が新型コロナウイルスの影響で中止)】	
3	信州サイエンスキャンプ	直接	信州サイエンステクノロジーコンテスト、課題研究合同研修会、信州サイエンスミーティングを実施 【参加者等：コンテスト10校22チーム135人。合同研修会18校241人。(ミーティングは17校267人参加予定であったが新型コロナウイルスの影響で中止)】	
4	スーパーサイエンスハイスクール指定校支援事業	直接	国際的な科学技術系人材を育成するため、先端的な理数系教育を実施する文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール事業の指定校への事業支援 【指定校3校(飯山、屋代、諏訪清陵)。屋代で日本学生科学賞(2年連続入選1等)ほか】	
5	信州みらいクリエイターズ育成事業	直接	プログラミング教育に関して、プログラミング教育フェロー養成研修を実施し、他の教員を指導できる実力を持つ教員を育成 【研修3件、プログラミング教育フェロー12人】	
		委託	信州の物づくりを支える人材養成を図るため、小中学生を対象に「信州ものづくり教室」「信州Makersキャンプ」の開催を委託 【参加者：Makers教室66人。信州Makersキャンプ49人】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
2	STEAMプラットフォーム推進事業		4,671 千円	4,844 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	信州グローバルユースセミナー	直接	国際的な視野を持った「グローバル」人材を育成するため、大学生主宰団体等と連携し、「小布施サマースクール」を開催 【参加者：高校生50人、中学生47人】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
3	カリキュラム編成支援事業		98,126 千円	90,785 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	カリキュラム編成支援事業	直接	県立高校において、特色あるカリキュラムを編成し、キャリア形成につながる学びや「主体的・対話的で深い学び」を実現するために必要な非常勤講師等を配置 【配置件数：非常勤講師76校、216人。学習支援員37校、43人】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
4	学力向上推進事業		20,201 千円	18,153 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	教育課程改善推進事業	直接	文部科学省主催の各教科担当指導主事連絡協議会等への参加による情報収集及び伝達 【研修参加教員：29人。阿南高校における伝統文化教育の実践研究】	
2	教育課程研究指定校事業	直接	文部科学省指定校における伝統文化教育を地域とともに推進するための教育課程の編成、指導方法等の工夫改善に関する実践研究。 【研究指定校：阿南高校】	
3	高大接続改革対策支援事業	直接	学びの指標検討会の設置による、生徒の進路目標の達成度合、及び各校や県全体の教育活動の効果の測定等が可能な「学びの指標」の策定。全県立高校の進路指導に係る研究会及び支援。 【学びの指標検討会4回開催。入試専用情報システム28校導入】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
5	地域との協働による高校教育改革推進事業		- 千円	5,829 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	地域の魅力を高めるカリキュラム推進事業	直接	「世界水準の山岳リゾートHAKUBA の学びの循環サイクルの構築」をテーマに、地域をフィールドにした教科横断的な取組として「高校生レストラン」や「高校生ホテル」、地域と学校が連携した課題解決型学習である「白馬SDGsラボ」などのカリキュラムを構築 【研究指定校：白馬高校】	
2	地域産業連携型カリキュラム推進事業	直接	「未来価値を創る玉手箱『地域協創スペシャリスト』育成プログラム」として、総合技術高校の強みを生かした「高度な専門性」、地域人教育を通じた「課題解決力」、コンソーシアムと連携した新しい付加価値を創り出す「協創力」を育成 【研究指定校：飯田OIDE長姫高校】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
6	「信州学」推進事業		4,363 千円	2,436 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	「信州学」推進事業	直接	地域に根差した探究的な学びである「信州学」を、すべての県立高校において実施 【「全国高校生MY PROJECT AWARD2019」全国Summitに2組出場】	
		委託	各高校の取組み成果を全県へ周知し、参加した高校生がともに学び合う機会として「信州学サミット」の開催を計画したものの、台風19号の災害により中止。	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
7	キャリア教育推進事業		6,120 千円	5,005 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	キャリア教育支援センター事業	直接	「キャリアパスポート」の作成を検討するとともに、新たなキャリア教育のモデルづくりに向けて長野県キャリア教育ガイドライン検討委員会を開催し「長野県キャリア教育ガイドライン」を見直し 【長野県キャリア教育ガイドラインの改訂(R2.3月)】	
2	キャリア・チャレンジ・プログラム	直接	キャリア教育研究校を指定し、先進的な取組に係る講師費用を支援。高校生のインターンシップに際し、損害賠償保険等を補助 【指定校12校、損害賠償保険補助対象生徒7,973人】	
3	高等学校教科競技大会派遣事業	交付金	専門高校等へ地区大会を経て出場する全国大会等（農業クラブ、全商大会、生活体験発表大会）への参加旅費の一部を補助 【補助対象校14校、補助対象生徒数141名】	

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
8	グローバル人材育成事業	211,317 千円	214,135 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	グローバル・リーダーを育成するカリキュラム育成事業	直接	SGH指定校の取組を支援し、成果を県内の他校へ普及させるとともに、「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」指定校における学習プログラムを開発 【SGH指定校：上田高校。グローバル型指定校：長野高校】
2	「海外での学び」推進事業	直接	高校生が中心となって留学への機運を盛り上げる留学フェアや帰国者報告会を企画運営するウィングシェア・プログラムを実施 【参加者数等：報告会2回、計68人。フェア約100人】
		委託	SDGsや芸術などをテーマにした県企画の留学プログラム4コース中2コースを実施 【参加者数：芸術コース14人、グローバルコース15人。しかし、SDGsの2コースは、新型コロナウイルスの感染拡大のため中止】
		補助金	高校生個人が企画する留学プログラム（長期留学及び短期留学）に要する費用の一部に対する補助 【留学者数：長期留学2人、短期留学11人。この他に12名が計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため中止】
3	国費高校生留学促進事業	補助金	世界に通用する発信力、コミュニケーション能力の育成を図るための留学に係る費用の一部を支援 【須坂高校、20人の予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大のため中止】
4	信州英語教育ルネサンス事業	直接	英語4技能育成のため、小・中・高校の各英語教員を対象にした専門性向上研修 【高校アップスキル研修会7回実施、161名参加】
		委託	高等学校入学者選抜におけるスピーキングテスト導入に向けた事前調査及び研究、並びにICT活用普及推進に係る文部科学省委託事業を実施予定であったが、国事業がなくなったため未実施
5	グローバル語り部派遣事業	直接	海外の大学で学ぶ学生による留学キャラバンを実施 【留学キャラバンを行った地域：4か所（長野、松本、上田、飯田）。参加者数等：57人】
6	英語力・指導力・専門性向上事業	直接	文部科学省主催の中央研修に参加した教員による伝達講習等を実施 小学校英語教員を対象とした免許法認定講習等を実施 【参加者数：伝達講習470人。免許法認定講習53人】
		委託	小学校英語教員を対象とした免許法認定講習に係るeラーニングの実施する予定であったが、国事業がなくなったため未実施
7	外国語指導助手配置事業	直接	世界に通用する発信力やコミュニケーション能力の育成を図るため、県立高校等へ外国語指導助手を配置 【ALT配置数等：32校、36人】
		委託	世界に通用する発信力やコミュニケーション能力の育成を図るため、県立高校等へ外国語指導助手の業務を委託 【委託校数等：7校、7人】